

令和元年度学校評価報告書

令和2年3月27日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路湖陵高等学校長 西 堀 隆 亮 印

次のとおり令和元年度の学校評価について報告します。

【全日制】

1 本年度の重点目標

1	全ての生徒に基礎・基本を確実に定着させ、高いレベルの学力を育成する。
2	生徒に身に付けさせたい資質・能力の実現に向け、全校体制で取り組む。
3	心身の鍛錬を通じ、自他を尊重するとともに社会に貢献しようとする、強固な精神力を育む。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	S S H・医進類型などの研究指定事業を初めとして、様々な取組が適切に実施され、授業改善および教科横断的指導等から学力向上へと結びつけられている。	学習指導における「自己評価」はほぼ適切である。今後も教科横断的指導を充実させ、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善を推進し、更なる学力向上を図って欲しい。
改善方策	カリキュラム・マネジメントによる教科横断的指導を発展させ、コンピテンス基盤型教育による学力向上を図り、指導と評価の一体化を充実させる取組を強化する。	
生徒指導	あらゆる活動を通して主体性と協働性を身に付けるとともに、「こころ」の教育を推進し、共感的な人間関係の構築を図るとともに地域貢献に寄与することができた。S Cの活用、いじめ防止等対策委員会を定期的に開催、人権教育・道德教育の推進、教育相談的手法による生徒指導等により、自己肯定感や自己指導力を育成した。	生徒指導についての「自己評価」はほぼ適切である。生徒会や部活動を通じて個人と集団の調和を保ち、自律的かつ調和的な人材育成ができています。
改善方策	道德教育や人権教育を充実させ、高いレベルで生徒の主体性と協働性の育成を目指し、高い人間性を育成していく。	
進路指導	生徒や保護者への十分な説明と適切な情報提供が実施されている。高大接続改革に関する校内研修を実施し、様々な進路希望に応じた職場体験等の実施を含めた3年間を見通したキャリア教育計画の作成が必要であると分析している。	進路指導についての「自己評価」はほぼ適切である。進学実績は保護者・地域の期待に応えている。より一層の実績を積み上げて地域のリーダーとなり得る人材育成をしてほしい。
改善方策	3年間を見通した組織的な進路指導を強化し、高大接続改革に関する積極的な情報提供を行う。	
健康安全指導	特別な支援や不登校傾向のある生徒への対応に関する組織体制の充実を図ることができた。今後、関係機関との連携強化や保護者へのアプローチの充実を図りたい。業務継続計画の見直しを行った。	健康安全指導についての「自己評価」はほぼ適切である。より一層、教育相談、生徒理解を進めてほしい。
改善方策	個人情報保護に十分配慮しつつ、教員間での指導体制の充実を図り、生徒の自己肯定感や自己指導力を育成する。また、防災・減災への意識を高揚させる指導の充実を図る。	
信頼される学校づくり	地域の活動や行事への参加等を通じて地域との連携を深めることができた。保護者面談の充実やP T Aと連携した教育活動の充実を図ることができた。より一層の広報・情報発信に努めたい。	保護者、地域との連携を深めることができています。保護者、地域の期待に応えるより一層の教育活動の充実を図ってほしい。
改善方策	コンプライアンスを徹底し教育公務員としての自覚を高める。H Pの工夫・改善や積極的な中学校訪問・学校説明会等を通じて本校の「良さ」「強み」を家庭・地域にP Rする。中高の教員間連携を強化する。	
教職員の資質向上	教科・分掌・全体研修は確実に実施し、学校課題解決に向けた取組を確実に行った。教務部とS S H事業と連携し、コンピテンス基盤型教育の確立とA Lの研究・実践を深めることができた。	教職員の資質向上の「自己評価」はほぼ適切である。
改善方策	課題を明確にした研修会の充実、教育者としての意識の高揚を図る。	

公表方法	学校ホームページ
------	----------

3 添付資料

- (1) 令和元年度学校評価 自己評価 全定各1部
- (2) 令和元年度学校評価 学校関係者（学校評議員）評価書
- (3) 令和元年度第2回学校評議員会議事録